

2008 年 8 月 7 日

第 3 期ロジスティクス環境会議  
メンバー各位

社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス環境会議  
企画運営委員会

### 「省エネ法 実態調査」へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ロジスティクス環境会議の諸活動につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先般、7 月 31 日（金）に開催されました「第 3 期ロジスティクス環境会議 第 1 回本会議」におきまして、本年度の活動として、「省エネ法 実態調査」を実施することが承認されました。

本調査は、①定期報告書の収集により、CGLメンバー等の特定荷主におけるエネルギー使用量や判断基準の遵守状況等の概況を分析する、②計画書の収集により、CGLメンバー等の特定荷主における省エネ計画の分析を行うことにより、CGLメンバー等を中心とした多くの企業において、物流・ロジスティクス分野におけるCO<sub>2</sub>排出削減活動の一助となる情報提供を行うことを目的としております。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、本調査に御協力賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

#### 記

#### 1. 回答方法：

##### 1) 「定期報告書」、「計画書」について

本年 6 月に経済産業局に提出された「定期報告書」「計画書」の写し等をメールもしくは  
はご郵送いただくか、必要事項を添付WORDファイルにご記入ください。

##### 2) その他の設問について

添付WORDファイルにご記入ください。

\*詳細は、次ページの「省エネ法実態調査 回答にあたって」をご確認ください。

#### 2. 返 信 先：ロジスティクス環境推進センター 事務局

cgl@logistics.or.jp

\*ご郵送される場合は、下記問い合わせ先宛に送付いただきたく存じます。

#### 3. 回答締切日：2008 年 9 月 5 日（金）

以 上

#### 【問い合わせ先】

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター 栗原、武藤、北條  
〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 3F

TEL：03-5484-4021 FAX：03-5484-4031 E-mail：[cgl@logistics.or.jp](mailto:cgl@logistics.or.jp)

## 省エネ法 実態調査 回答にあたって

### 1. 本調査のねらい

本調査のねらいは以下のとおりです。

- ① 定期報告書の収集により、CGLメンバー等の特定荷主におけるエネルギー使用量や判断基準の遵守状況等の概況を分析する。
- ② 計画書の収集により、CGLメンバー等の特定荷主における省エネ計画の分析を行う。

なお、本調査票は、CGLメンバーのうち、①特定荷主該当企業、②親会社が特定荷主である物流子会社の方に送付しております。

### 2. 回答方法

#### 1) 定期報告書、計画書について

**本年6月に経済産業局に提出された「定期報告書」「計画書」の写しをメールまたはご郵送いただきたく存じます。**(郵送される場合は、送付用封筒をお送りいたしますので、ご連絡ください。)

なお、写しの提出が不可能な場合のみ、下記回答票にご回答ください。

(定期報告書、計画書のフォーマットとほぼ同じものです。)

定期報告書 ⇒ 回答票 01【特定荷主】定期報告書.doc

計 画 書 ⇒ 回答票 02【特定荷主】計画書.doc

#### 2) その他の設問について

「定期報告書」、「計画書」の内容以外の設問です。下記回答票にご回答下さい。

そ の 他 ⇒ 回答票 03【特定荷主】その他の設問.doc

### 3. 締切日

2008年9月5日(金)

### 4. 回答送付先

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター 事務局

〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3F

TEL 03-5484-4021 FAX 03-5484-4031

メールアドレス [cgl@logistics.or.jp](mailto:cgl@logistics.or.jp)

### 5. その他

- ・回答企業の承諾がない場合において、**回答企業名は一切公表いたしません。**
- ・回答票の行等は適宜追加していただいてもかまいません。
- ・回答結果は、環境会議の研究会、各委員会の活動の一環として活用いたします。

以 上

<回答票 01【特定荷主】定期報告書.doc>

**【はじめに】**

本年6月に経済産業局に提出された「定期報告書」の写しをメールまたはご郵送いただく場合は、本票への回答は不要です。

第1表 エネルギー使用量等

識別	区分	算定方法		エネルギー使用量 熱量 GJ
			前年度からの 変更	
自家輸送	貨物自動車( )		有/無	
	その他( )		有/無	
委託輸送	貨物自動車( )		有/無	
	貨物自動車( )		有/無	
	貨物自動車( )		有/無	
	貨物自動車( )		有/無	
	貨物自動車( )		有/無	
	貨物自動車( )		有/無	
	船舶( )		有/無	
	船舶( )		有/無	
	鉄道( )		有/無	
	航空機( )		有/無	
合計 GJ				
原油換算 kl				②
対前年度比 (%)				

補足 エネルギー使用量の算定方法に関して


付表 1 燃料法によるエネルギー使用量等の算定

識別	区分		エネルギー使用量	
			数値	熱量 GJ
自家輸送	貨物自動車 ( )	揮発油	kl	
		軽油	kl	
		( )		
		( )		
	その他 ( )	( )		
		( )		
委託輸送	貨物自動車 ( )	揮発油	kl	
		軽油	kl	
		( )		
		( )		
	船舶 ( )	A 重油	kl	
		B・C 重油	kl	
		( )		
	鉄道 ( )	軽油	kl	
		電力	千 kWh	
	航空機 ( )	ジェット燃料油	kl	
		揮発油	kl	
	合計			

補足 燃料法によるエネルギー使用量の算定に関して


付表 2 燃費法によるエネルギー使用量等の算定

識別	区分		輸送距離 (km)	エネルギー使用量		参考) 平均燃費
				数値	熱量 GJ	
自家輸送	貨物自動車 ( )	揮発油		kl		km/l
		軽油		kl		km/l
		( )				
		( )				
	その他 ( )	( )				
		( )				
委託輸送	貨物自動車 ( )	揮発油		kl		km/l
		軽油		kl		km/l
		( )				
		( )				
	船舶 ( )	A 重油		kl		km/kl
		B・C 重油		kl		km/kl
		( )				
	鉄道 ( )	軽油		kl		km/l
		電力		千 kWh		km/千 kWh
	航空機 ( )	ジェット燃料油		kl		km/kl
揮発油			kl		km/kl	
合計						

補足 燃費法によるエネルギー使用量の算定に関して


付表3 トンキロ法によるエネルギー使用量等の算定

識別	区分		輸送量 (千トンキロ)	エネルギー使用量		参考) 平均 積載率	参考) エネルギー消費 原単位 (kl/トンキロ)
	燃料	最大積載量(kg)		数値	熱量 GJ		
自家輸送	貨物自動車 ( )	揮発油	軽貨物自動車		kl	%	
			~1,999		kl	%	
			2,000 以上		kl	%	
		軽油	~999		kl	%	
			1,000~1,999		kl	%	
			2,000~3,999		kl	%	
			4,000~5,999		kl	%	
			6,000~7,999		kl	%	
			8,000~9,999		kl	%	
			10,000~11,999		kl	%	
	12,000 以上		kl	%			
	その他 ( )	( )					
		( )					
	委託輸送	貨物自動車 ( )	揮発油	軽貨物自動車		kl	%
~1,999					kl	%	
2,000 以上					kl	%	
軽油			~999		kl	%	
			1,000~1,999		kl	%	
			2,000~3,999		kl	%	
			4,000~5,999		kl	%	
			6,000~7,999		kl	%	
			8,000~9,999		kl	%	
			10,000~11,999		kl	%	
12,000 以上			kl	%			
船舶		( )					
		( )					
鉄道		( )					
航空機	( )						
合計							

補足 トンキロ法によるエネルギー使用量の算定に関して


第2表 エネルギー使用量と密接な関係を持つ値

	平成19年度	対前年度比 (%)
エネルギー使用量と密接な関係を持つ値 ( )	①	

第3表 エネルギーの使用に係る原単位

	平成19年度	対前年度比 (%)
原単位 = $\frac{\text{エネルギーの使用量(原油換算 kl)}(②)}{\text{エネルギーの使用量と密接な関係をもつ値}(①)}$		

第4表 複数の種類の値を用いてエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値を算定した場合の算定手法、エネルギーの使用に係る原単位の算定方法を変更した場合の理由




第5表 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の変化状況

	年度	年度	年度	平成 18年度	平成 19年度	5年度間 平均原単位変化
エネルギーの使用に 係る原単位						
前年度比 (%)		㉠	㉡	㉢	㉣	

第6表 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位が年平均1%以上改善できなかった場合(イ)又はエネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合(ロ)の理由

(イ)の理由
(ロ)の理由

第7表 エネルギーの使用の合理化に関する判断の基準の遵守状況

対象項目				
取組方針の作成とその効果等の把握	取組方針の策定 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	エネルギー使用実態等のより正確な把握 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	エネルギー使用実態等の把握方法の定期的確認 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず	責任者の設置 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず
	社内研修体制の整備 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施せず			
輸送方法の選択	鉄道及び船舶の活用 の推進 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず			
輸送効率向上のための措置	積み合わせ輸送・混載便の利用 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	適正車種の選択 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	輸送ルート・輸送手段の工夫 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	車両等の大型化 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず
	輸送効率の良い事業用貨物自動車の活用 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	道路混雑時の貨物の輸送の見直し <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず		
貨物輸送事業者及び着荷主との連携	貨物の輸送頻度等の見直し <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	計画的な貨物の輸送の実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず		

環境に配慮した 製品開発 (製造業)	商品や荷姿の標準 化 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず	製品や包装資材の 軽量化、小型化 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 実施せず		
--------------------------	--	--	--	--

第8表 その他エネルギーの使用の合理化に関し実施した措置

措 置 の 概 要

第9表 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量

報告年度：平成19年度

1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
---------------------------	-------------------

2 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容


貴社名 ( )

ご回答者氏名 ( )

<回答票 02【特定荷主】計画書.doc>

【はじめに】

本年6月に経済産業局に提出された「計画書」の写しをメールまたはご郵送いただく場合は、本票への回答は不要です。

I 計画期間

年度

II 計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果

対 策	計画内容	エネルギー使用 合理化期待効果

III 前年度計画書との比較

対 策	削除された計画	理 由
対 策	追加された計画	理 由

IV その他計画に関連する事項

貴社名 ( )

ご回答者氏名 ( )

<回答票 03【特定荷主】その他の設問.doc>

1. 平成 19 年度の輸送トンキロは算定されておりますか。また算定されている場合は、その値もご回答下さい

- 算定している  
→ その値をご回答下さい ( ) トンキロ
- 算定していないが、前年度（平成 18 年度）の実績等から類推できる。  
→ その値をご回答下さい ( ) トンキロ
- 算定しておらず、類推もできない

2. 今後（2～3年後）のエネルギー使用量の算定方法の変更等について、主に当てはまる選択肢を1つお選び下さい。

- より精度の高い算定方法（燃料法、実測の燃費値を用いた燃費法）を採用するべく進めていく。
- 現在使用している算定方法をベースとし、算定方法の変更は考えていない。
- その他 ( )

3. 輸送分野におけるCO<sub>2</sub>削減に資する下記施策について、Q 1. 前年度（平成 18 年度）と比べて取り組みは進みましたか、また、Q 2. 今後（2～3年後）の見通しについて、主に当てはまる選択肢を1つお選び下さい。

施策	Q 1. 平成 18 年度との比較 ア、増加（拡大）した イ、やや増加（拡大）した ウ、同じ エ、やや減少（縮小）した オ、減少（縮小）した カ、実施していない キ、不明	Q 2. 今後の見通し ア、増加（拡大）していく イ、現状と同様に実施 ウ、減少（縮小）していく エ、今後も実施しない オ、不明
1) 鉄道へのモーダルシフト	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
2) 船舶へのモーダルシフト	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
3) 共同物流・共同配送	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
4) 輸配送ルートの見直し	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
5) 輸配送頻度の見直し	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
6) エコドライブ	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
7) 車両の大型化・トレー化	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
8) 積み合わせの工夫	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ
9) 主要な輸送事業者との 連携・協力 (定期的会合の実施、協力等)	ア イ ウ エ オ カ キ	ア イ ウ エ オ

貴社名 ( )

ご回答者氏名 ( )

ご協力ありがとうございました。